

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成21年10月22日(2009.10.22)

【公開番号】特開2009-114191(P2009-114191A)

【公開日】平成21年5月28日(2009.5.28)

【年通号数】公開・登録公報2009-021

【出願番号】特願2008-291542(P2008-291542)

【国際特許分類】

A 6 1 K	45/00	(2006.01)
A 6 1 K	45/06	(2006.01)
A 6 1 P	43/00	(2006.01)
A 6 1 P	35/00	(2006.01)
A 6 1 K	38/00	(2006.01)
A 6 1 K	38/22	(2006.01)
A 6 1 K	39/00	(2006.01)
A 6 1 K	39/395	(2006.01)
C 1 2 N	15/09	(2006.01)

【F I】

A 6 1 K	45/00	Z N A
A 6 1 K	45/06	
A 6 1 P	43/00	1 2 1
A 6 1 P	35/00	
A 6 1 K	37/02	
A 6 1 K	37/24	
A 6 1 K	39/00	G
A 6 1 K	39/395	D
A 6 1 K	39/395	U
C 1 2 N	15/00	A

【手続補正書】

【提出日】平成21年9月7日(2009.9.7)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

患者における抗原に対する記憶T細胞応答を誘導するための医薬組成物の製造における、抗CTLA-4抗体またはそのフラグメントの使用であって、前記抗CTL A - 4抗体またはそのフラグメントが CTLA-4の細胞外ドメインに特異的に結合し、さらに CTLA-4シグナル発生を抑制するという特徴を有する前記使用。

【請求項2】

当該抗原が病原体抗原である、請求の範囲第1項記載の使用。

【請求項3】

病原体抗原がウイルスのエンベロープおよびコート蛋白である、請求の範囲第2項記載の使用。

【請求項4】

病原体抗原が黄色ブドウ球菌内毒素Bである、請求の範囲第2または3項記載の使用。

**【請求項 5】**

当該抗原が腫瘍抗原である、請求の範囲第1項記載の使用。

**【請求項 6】**

さらに、腫瘍に対するT細胞の反応を高めるための腫瘍抗原の使用を含む、請求の範囲第5項記載の使用。

**【請求項 7】**

腫瘍抗原が既に死んだ腫瘍細胞または死につつある腫瘍細胞を含む、請求の範囲第5または6項記載の使用。

**【請求項 8】**

既に死んだ腫瘍細胞または死につつある腫瘍細胞が照射腫瘍細胞である、請求の範囲第5または6項記載の使用。

**【請求項 9】**

腫瘍抗原が、精製蛋白または腫瘍細胞由来の溶解物を含む抗原調製物である、請求の範囲第5または6項記載の使用。

**【請求項 10】**

さらに、免疫反応刺激剤の治療方法における使用を含む、請求の範囲第1～9項のいずれか一項記載の使用。

**【請求項 11】**

免疫反応刺激剤がサイトカインである、請求の範囲第10項記載の使用。

**【請求項 12】**

サイトカインが顆粒球・マクロファージコロニー刺激因子(GM-CSF)、マクロファージコロニー刺激因子(M-CSF)、顆粒球コロニー刺激因子(G-CSF)、またはインターロイキン12(IL-12)である、請求の範囲第11項記載の使用。

**【請求項 13】**

さらに、化学療法剤の治療方法における使用を含む、請求の範囲第1～12項のいずれか一項記載の使用。

**【請求項 14】**

CTLA-4抗体またはそのフラグメントを、ホストの腫瘍特異T細胞と生体外で混合する、請求の範囲第5～9項のいずれか一項記載の使用。

**【請求項 15】**

患者における抗原に対する記憶T細胞応答を誘導することにより癌腫を治療するための医薬組成物の製造における、抗CTLA-4抗体またはそのフラグメントの使用であって、前記抗CTLA-4抗体またはそのフラグメントがCTLA-4の細胞外ドメインに特異的に結合し、さらにCTLA-4シグナル発生を抑制するという特徴を有する前記使用。

**【請求項 16】**

患者における抗原に対する記憶T細胞応答を誘導するための医薬組成物であって、CTLA-4の細胞外ドメインに特異的に結合し、さらにCTLA-4シグナル発生を抑制する抗CTLA-4抗体またはそのフラグメントを含む前記医薬組成物。

**【請求項 17】**

患者における抗原に対する記憶T細胞応答を誘導することにより癌腫を治療するための医薬組成物であって、CTLA-4の細胞外ドメインに特異的に結合し、さらにCTLA-4シグナル発生を抑制する抗CTLA-4抗体またはそのフラグメントを含む前記医薬組成物。

**【請求項 18】**

放射線療法を受けた患者におけるメラノーマを治療するための薬剤の製造における、抗CTLA-4抗体またはそのフラグメントの使用。

**【請求項 19】**

化学療法を受けた患者におけるメラノーマを治療するための薬剤の製造における、抗CTLA-4抗体またはそのフラグメントの使用。

**【請求項 20】**

放射線療法を受けた患者における癌腫（カルシノーマ）を治療するための薬剤の製造における、抗 CTLA - 4 抗体またはそのフラグメントの使用。

**【請求項 21】**

化学療法を受けた患者における癌腫（カルシノーマ）を治療するための薬剤の製造における、抗 CTLA - 4 抗体またはそのフラグメントの使用。